

○各年度の事業は PDCA サイクルを基本として進める

<事業の実施>

<専門委員会>

平成 26 年度事業

【第一フェーズの考え方】

モデル的ケースの早期開始により事業を精査

- ① H27 年度中の設備稼働を目指し、H26 年度は避難所運営委員会と連携開始（マニュアル作成）
- ② 避難所運営（ソフト面）を中心に精査

避難所運営委員会との連携と設備導入を開始

平成 27・28 年度に向けた事業実施場所の調査

H27 事業に向けて見直し

○第一、第二回委員会

- ・全体の進め方について協議
- ・H26 実施方針（場所・設備・制度）の精査・決定
- ・避難所運営や設備への課題抽出
- ・H27、H28 事業方針の調整

○第三回委員会

- ・避難所運営委員会との調整状況の報告と課題点について協議
- ・H27 事業方針の精査

平成 27 年度事業

【第二フェーズの考え方】

H27 年度中に設備の活用を実現

- ① H26 導入設備を具体的に活用（防災訓練）
- ② 効果的な設備活用（ハード面）を精査

防災訓練の実施と設備稼働状況の確認

H28 年度の事業実施場所の調査

H28 事業に向けて見直し

○第四回委員会

- ・H27 事業方針を決定
- ・設備活用における課題抽出と H28 事業方針の調整

○第五回委員会

- ・導入設備を活用した避難所運営に関する実施状況報告
- ・制度連携における課題点の協議
- ・H28 事業方針の精査

平成 28 年度事業

【第三フェーズの考え方】

避難所運営と再エネ設備の連携を具体的に精査

- ① 設備導入済みの実例から具体的な課題を抽出
- ② 全体バランスから導入候補を調整

H26,7 年度事業の設備稼働状況を精査

避難所運営と設備の制度連携を更に精査

○第六回委員会

- ・H28 事業方針を決定
- ・設備活用する上での課題協議
- ・事業実施時の具体的な課題抽出

○第七回委員会

- ・制度連携の結果報告
- ・設備活用の結果報告
- ・事業全体のまとめ

千葉市事業の最終といまとめ
(業務の精査)

○第八回委員会
・事業評価

環境省へ
報告